

Before

After

“ふじのくに”の空を美しく
～ 静岡県無電柱化推進計画 ～

Before

After

静岡県 交通基盤部 道路局

無電柱化の課題

● 整備期間 約 7年

整備期間 (約2年) 設計

- 予備設計 (道路管理者 電線管理者)
- 詳細設計 (道路管理者 電線管理者 沿道関係者)

工事 (約5年)

- 支障物件移設 (道路管理者 占用企業者 沿道関係者)
- 電線共同溝 本体工事 (道路管理者 電線管理者 沿道関係者)
- 引込管設置 (電線管理者 沿道関係者)
- ケーブル敷設 (電線管理者 沿道関係者)
- 地上機器設置 (電線管理者 沿道関係者)
- 電線・電柱撤去 (電線管理者 沿道関係者)
- 舗装工事

● 整備費用 約 5～6 億円/km
(うち、道路管理者 約 7割)

整備費用 5～6 億円/km

道路管理者 約 7割

電線管理者 約 3割

(出典) 国土交通省 HP掲載資料を一部修正

無電柱化の現状

- 本県の無電柱化率は、約 2% (全国第 9 位)
- 国内の電柱は、毎年約 7 万本増加

欧米やアジアの主要都市の無電柱化率

ロンドン・パリ	100%
香港	100%
シンガポール	100%
台北	96%
ソウル	49%
東京23区	8%
静岡県	1.7%

(平成29年度末時点)
(出典) 国土交通省 HP掲載資料を一部修正

全国における電柱本数の推移

年	電力 (万本)	通信 (万本)	合計 (万本)	増加 (万本/年)
H20	2,340	1,185	3,525	27万本増加 (+7万本/年)
H24	2,369	1,183	3,552	
H28	2,393	1,185	3,578	26万本増加 (+7万本/年)

(出典) 国土交通省 HP掲載資料を一部修正

計画概要

国

無電柱化の推進に関する法律 (平成28年12月 施行)

↓

無電柱化推進計画 (平成30年4月 策定・公表)

静岡県

静岡県の新ビジョン (総合計画)
富国有徳の美しい“ふじのくに”の人づくり・富づくり

↓

美しい“ふじのくに”のみちづくり

↓

静岡県無電柱化推進計画 (平成31年4月 策定)

計 画 間 2018年度から2021年度までの4年間

目 標 約 28 kmの事業に着手し、うち約 22 kmの工事に着手

基本方針

1 防災

- 緊急輸送路や避難路などの防災上重要な道路



指標 都市部（DID内）の緊急輸送路の無電柱化率
7.0% [2017] ▶ **7.5%** [2021]

2 安全・円滑な交通確保

- バリアフリー重点整備地区内の道路や通学路などの交通安全上重要な道路



指標 バリアフリー化が必要な道路の無電柱化率
20.0% [2017] ▶ **21.8%** [2021]

3 景観形成・観光振興

- 景観形成上重要な道路



指標 良好な景観形成に資する主要な道路の無電柱化率
10.4% [2017] ▶ **16.0%** [2021]

県道静岡空港線（牧之原市坂口 地内）



整備箇所

1 防災



国道414号
 <沼津市>



国道301号
 <湖西市>

2 安全・円滑な交通確保



県道三島停車場線
 <三島市>



県道御殿場停車場線
 <御殿場市>

3 景観形成・観光振興



県道富士富士宮線
 <富士宮市>



県道足柄停車場富士公園線
 <小山町>

推進に向けた取組

- 関係者の連携強化により、整備期間短縮
- 低コスト手法の活用により、コスト縮減

低コスト手法等の事例

管路の浅層埋設	小型ボックス活用埋設	軒下配線	裏配線
現行より浅い位置に埋設	小型化したボックス内にケーブルを埋設	電線類の一部を軒下や壁面に設置	無電柱化する道路の裏通りから配線